

# ボランティア通信



高校生にボランティアの基本を説明



白杖とアイマスクを体験中

小学校での福祉学習の様子



過去のボランティアスクールの写真です！



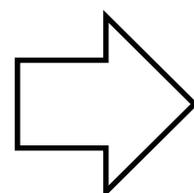
## ボランティアスクール 参加団体募集

### TOPICS >>> 主な記事

- ボランティアスクール 参加団体募集
- ボランティアスクール 活動報告
- 令和6年度 下期 歳末たすけあい募金  
地域福祉活動補助金 申請団体募集
- お知らせ
  - ・「あなたとわたしワークショップ#2」  
/にじメディア制作委員会
  - ・東京防災学習セミナー  
/第七小学校避難拠点運営連絡会
  - ・ヒンメリの加工体験会・まろにえ祭り出店のお知らせ  
/NPOころあ

ボランティアスクールは、学生や生徒たちが福祉・ボランティアに触れる機会を持つことで、ボランティアに関心を持ち理解を深めて活動につながることを目的としています。ボランティアセンターでは一緒に活動する団体を募集していません。お気軽にご相談ください。

ボランティアスクールの  
活動報告は次ページへ！



# ボランティアスクール 活動報告

令和6年6月4日、登録ボランティア団体『シニアアシスト・おもいやり』の皆さんが講師として、都立東久留米総合高校の社会福祉入門の授業を受け持ちました。

はじめに、ボランティアセンター職員がボランティアの基本を説明した後、実際に外に出て車いすを体験し、高齢者疑似体験キットを身に着けて校舎の中を移動しました。

車いすに触れるのは、小学生以来という生徒がほとんどだったこともあり、坂道や段差での操作のしにくさや実際に体験しなければ気がつかない視点での恐怖や不安を感じていました。



車いすに乗ること・押すことを体験

高齢者疑似体験ではゴーグル・イヤーマフ（防音保護具）・重りを着用することで目が見えにくい・聞こえにくい・動きにくい状態となり、介助者がいなければ移動もままならない状況を体験。年齢を重ねることや障がいがあることでの不自由さを体感しました。

生徒の皆さんには、今回の体験を通じて感じたことが、日々の生活や周囲の人への関心につながる機会になればと思います。協力してくださった『シニアアシスト・おもいやり』の皆さんありがとうございました。



サポーターやベストを着用（高齢者疑似体験）

## 体験をしてみたの感想（リアクションペーパーから一部抜粋）

- バイトで高齢者の方の忘れ物や対応をよくするので、これからはより親身になって対応しようと思いました。
- 体の体験をしてみて今の自分の体と重さや目の見え方、足の動かしやすさが全く違った。
- 道中はあまりバリアフリー化が進んでいないことがわかった。
- 段差や坂はゆっくりと上げ下ろしたりなど車いすに乗っている人の気持ちを考えて操作するのが大事だと思いました。
- 1cmの段差は私にとってはほぼないものと同じですが、車いすの方にとってはものすごく高く感じるのに驚きました。

# 令和6年度 下期 歳末たすけあい募金 地域福祉活動補助金 申請団体募集

「安心と心ゆたかな みんなのふくしのまちづくり」に向け、社協とボランティア団体等がパートナーになって、一緒に地域福祉を進めていくための補助金です。東久留米市らしい地域福祉の推進と地域共生社会の実現を図ることを目的として実施します。

## ■補助対象区分と団体の要件

・以下の全てに該当する団体です。

	立ち上げ資金	事業資金
社協会員	令和6年度会員	令和6年度会員
主な活動場所	市内	市内
団体の種類 (※プレゼン)	ボランティア団体(任意団体)	ボランティア団体(任意団体) または非営利団体
設立・実績 (※プレゼン)	新たにボランティア団体 (任意団体)を立ち上げる または立ち上げから1年未満	設立1年以上 の活動実績がある
会員人数 (※プレゼン)	5人以上	10人以上 実行委員会は5団体以上
独立した意思決定	あり	あり
会則・事業計画	作成予定(2年目から必要)	あり
歳末たすけあい 運動の広報	独自の媒体で広報できる(予定)	独自の媒体で広報できる
報告会の参加	活動を紹介する	補助事業の成果を報告する
対象外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営利を目的とする団体</li> <li>・選挙、政治、または宗教的活動を目的とする団体</li> <li>・公共の福祉に反する活動を行う団体</li> <li>・その他、会長が適切でないと認めた団体</li> </ul>	

(※プレゼン)一部の要件では、該当しなくてもプレゼンテーション審査で認めるときがあります。

## ■補助金額

	金額
立ち上げ資金	1団体上限 5万円×3年(最大15万円)
事業資金	1団体上限 10万円

## ■事業実施期間

10月1日(火)～令和7年3月31日(月)

## ■申請期間

7月4日(木)～8月7日(水)午後5時 ※郵送のみ、必着。

## ■募集要項及び申請書配布

7月4日(木)から本会窓口、中央町地区センター、  
右記QRコードの社協ホームページからダウンロードが可能です。  
対象となる事業や申請手続きについては募集要項にてご確認ください。



社協 HP

ボランティア通信では、ボランティアの力を借りたい、メンバーを増やしたいと希望する個人・団体の情報を掲載することができます。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。  
(紙面の都合等により掲載できない場合もあります)

## お知らせ

講座、セミナーなどのイベント情報、地域の情報など各問い合わせ先に直接ご連絡ください。

### ○「あなたとわたしワークショップ#2」/にじメディア制作委員会

「得意と好きで生きたい！」と題した、映像アートとコミュニケーションプログラム「好き。」から生まれる化学反応を期待！！

日 時:①7月27日(土)②8月24日(土)③9月28日(土)④10月26日(土)  
いずれも10時～17時

内 容:障がいの有無を超え「あなた」と「わたし」それぞれの個性に着目した  
“コミュニケーションによる化学反応”を期待する、自己肯定感を育むワークショップ

場 所:さいわい福祉センター(幸町3-9-28)

問合せ:042-458-0712(齋藤) /メール:info@logosfilm.jp

受付時間:平日午前10時から午後6時 土日祝の際は、メールにて受付可能

### ○東京防災学習セミナー/第七小学校避難拠点運営連絡会

日 時:①8月8日(木) ②8月21日(水) いずれも10時15分～11時45分

内 容:①避難所生活のヒント～発災後の避難所での生活をイメージし、避難について考える～  
(避難所生活におけるトイレ、プライバシー、要配慮者視点、ペット対策などの課題、分散避難など)  
②地域で取り組む要配慮者対策～多様な配慮が必要な方々を、地域全体で支えるために～  
(安否確認、避難行動要支援者名簿の活用、避難所生活、在宅避難者の見守り、専門団体との連携など)

場 所:東久留米市立第七小学校(滝山7-26-30)

問合せ:080-7946-1125(上田) /メール:wapapasann@nifty.com

受付時間:平日午前9時から午後5時(不在の場合は折返します)

### ○ヒンメリの加工体験会・まろにえ祭り出店のお知らせ/NPOこころあ

日 時:①ヒンメリ加工体験会/7月13日(土)9時30分～12時  
②まろにえ祭り出店/7月21日(日)10時～15時

内 容:①加工体験会では、東久留米産の柳久保小麦の麦わらから、材料のストローを作る加工過程を体験します(500円、お土産付)

②まろにえ祭りでは藁ストローを使って、簡単な四面体のモビールを作ります(500円)

場 所:①西部地域センター(滝山)・講習室2

②生涯学習センター まろにえホール・学習室

問合せ:080-7000-4635(山本)

## 東久留米市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒203-0033 東久留米市滝山四丁目3番14番 わくわく健康プラザ2階

電話 042-475-0739 ファックス 042-476-4545

開所時間 月～金曜 午前8時半～午後5時

E-mail volunteer@higashikurume-shakyo.or.jp

http://www.higashikurume-shakyo.or.jp/



社協 HP